



公益財団法人
日本オリンピック委員会

令和4年度 事業計画

公益財団法人 日本オリンピック委員会

日本オリンピック委員会(JOC)が追い求める「ありたい姿」である「JOC Vision 2064 スポーツの価値を守り、創り、伝える」のもと、アスリートを人々の「憧れ」の存在となるよう育て、社会が抱える課題の解決に貢献し、そしてオリンピズムが浸透している社会の実現を目指し、令和3年度に作成した、第1次中期計画(2022～2024年度)に基づき、「オリンピックの価値発信」、「アスリートの育成・支援」、「国際交流の推進」、「JOC組織力・基盤強化」、「NF連携・支援」を5つの柱として、以下の公益目的事業及び収益事業等を実施する。

特に、今年度においては、東京2020大会のレガシーを継承し発展させるべく、オリンピズムの理解向上のためのオリンピック・ムーブメントの推進や、アスリートの育成・強化支援、中国・杭州市で開催される第19回アジア競技大会などの国際総合競技大会へのTEAM JAPAN(日本代表選手団)派遣を中心に諸事業を展開する。

また、会館管理運営及び日本オリンピックミュージアム運営も推進していく。

公益目的事業

1. 選手強化、強化スタッフの育成及びこれらの支援

<選手強化事業>

強化合宿事業

オリンピック実施競技団体等のオリンピック強化指定選手・ナショナルチーム等を中心とした国内・海外の強化合宿を実施する。

コーチ力強化事業

オリンピック実施競技団体にハイパフォーマンスディレクター等、ナショナルヘッドコーチ、ナショナルチームコーチ、ナショナルチームスタッフを配置することで選手強化事業を効果的に推進し、併せて海外優秀コーチの招聘やコーチの海外派遣及びコーチ・強化スタッフ会議を開催し、情報交換と相互連携を図る。

スポーツ国際交流事業

国際競技大会に選手及び強化スタッフ等を派遣するとともに、トップレベルの外国選手・チームを招待し、競技交流を通して選手強化を図る。また、オリンピック競技大会を始めとした国際総合競技大会に対応するための情報収集と安全な活動拠点の確保を検討する。

将来性を有する選手の発掘及び育成事業

ナショナルトレーニングセンターを活用して人間力を備えたトップアスリートの育成を目指すエリートアカデミー事業を実施するとともに、JOCジュニアオリンピックカップ大会の優秀者をオリンピック有望選手に認定し研修会を実施する。また各地域で実施されているタレント発掘・育成事業を支援し、有望な競技者を中央競技団体へ繋げる。

次世代アスリート育成・強化事業

2024年オリンピック競技大会及び2026年オリンピック冬季競技大会での活躍が期待できる選手の育成・強化に向けて強化合宿事業並びに国際交流事業を実施する。

IF等役員ポスト獲得支援事業

スポーツ国際展開基盤形成の主たる事業として、国際競技連盟(IF)等の政策決定過程に参画できるポストの獲得、維持、対象候補者の育成等を支援する。それにより、国際スポーツ界における我が国の影響力を強化し、情報収集・発信能力の向上を図る。

スポーツ指導者の養成・活用等

トップアスリートのキャリア支援のための教育・研修、無料職業紹介事業を行う。また、国際的な折衝等において活躍できる人材を育成するためのセミナー等を実施する。更に指導者としての能力・資質・技能の向上を目的に設置されたナショナルコーチアカデミーにおいて高度な専門的プログラムを提供することにより、ワールドクラスのコーチを育成する。併せ、スポーツの場におけるアスリートを取り巻く環境の整備を推進する。

国際競技力向上に関わる情報提供事業

パリ2024対策プロジェクト、ミラノ・コルティナ2026対策プロジェクト及び情報・医・科学サポートを通じて国際競技力向上に関わる方針、戦略、戦術、施策等の情報をスポーツ関係者に提供することにより各競技団体の選手育成強化戦略を支援する。

アンチ・ドーピング活動推進事業

オリンピック強化指定選手及び日本代表候補選手に対して、普及・啓発活動を実施する。

スポーツ指導者海外研修事業

指導的な役割を担う若手指導者を海外に派遣し、その専門とする競技水準の向上に関する具体的な方法等について研修させるとともに、海外の選手強化対策、指導者養成の実態等について調査・研究に当たらせ、将来わが国のスポーツ界を担う指導者として育成することにより、国際競技力向上とスポーツの底辺拡大に繋げる。

アスリートを取り巻く環境の整備

アスリート保護者向けセミナー等を通じてアスリートの環境整備についてアントラージュへの働きかけを行う。また、女性の「する」「みる」「ささえる」スポーツへの参加を促進するための環境を整備することによりスポーツ団体における女性役員の育成支援を行い、スポーツを通じた女性の社会参画・活躍を促進する。

ナショナルトレーニングセンター管理運営事業

選手強化の中核拠点としての役割を担い、強化合宿等の充実を図るとともに、競技間連携を推進する。また、日本各地にあるナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点等の国内競技施設と大学等研究機関・医療機関とのネットワークの構築を推進する。

国際総合競技大会 TEAM JAPAN 安全対策等事業

国際総合競技大会に参加するTEAM JAPAN(日本代表選手団)をサポートするため、様々な方向からの情報を収集するとともに、関係機関と連携し活動拠点の確報等にも努める。

国際審判員養成プログラム事業

国際競技大会における我が国のプレゼンスを高め日本代表選手の競技環境を向上出来るよう日本人の国際審判員等の養成を図る。

強化対策事業

アスリートプログラムに基づく健康診断、体力測定等を実施するとともに、JOCインテグリティ教育事業を通じてオリンピック強化指定選手並びに指導者の資質を高め、自らの価値、オリンピックの価値を守る知識と手段、正しい倫理観や道徳心を有するアスリート、指導者の育成に努める。特に、トップアスリートには競技力とともに人間力を向上し、「憧れられるアスリート」となるようサポートする。

競技団体強化交付金事業

選手強化のための寄付金等の財源をもとに、各国内競技団体の強化施策を財政面から支援する。

2. **オリンピック・ムーブメントの推進**

＜オリンピックデー記念事業、スポーツ教室・大会開催事業＞

参加者がオリンピックと交流するオリンピック・ムーブメント事業として、ジョギングを中心とした「オリンピックデーラン」、中学生にオリンピズムを伝える「オリンピック教室」、オリンピックがあらためてオリンピズムを学ぶ機会とする「オリンピック研修会」を開催。持続可能なスポーツ界の発展のために、多くの人々がオリンピックの価値やジェンダー平等、多様性等を知る機会を創出する。また、スポーツと音楽を融合させた「オリンピックコンサート」も実施する。

オリンピックデーラン	全国	10会場
オリンピック教室	20都道県	80校 250クラス
オリンピック研修会		3回
オリンピックコンサート		2会場

<「TEAM JAPAN」のブランド管理・情報発信>

TEAM JAPANブランドを適切に管理・使用していくとともに、TEAM JAPANブランドの中心であるオリンピック大会やアジア大会をはじめとする各種国際大会に参加するTEAM JAPAN(日本代表選手団)に関する情報を、ホームページ(<https://www.joc.or.jp/>)、SNS、広報誌「オリンピアン」、カレンダー等の広報ツールに加え、各種セミナー、イベントの開催やファン向けのキャンペーン等を通じ、広く発信することで、オリンピック大会期間以外にも継続的にスポーツの価値の浸透を図り、オリンピズムの理解促進につなげる。

<スポーツ環境保全活動事業>

地球温暖化が加速し自然災害も増加する中、スポーツ活動が行える環境を守るため、日本のスポーツ界における環境保全の啓発活動を推進する。

<広報活動事業>

オリンピック・ムーブメントを推進するための広報活動の企画立案や、効果的な報道のあり方についてのジャーナリストセミナー等を実施する。また、アスリートへの写真・動画による性的ハラスメントの抑止のため、大会会場での告知等をスポーツ統括6団体及び日本スポーツ振興センターと連携して取り組む。

<オリンピックソリダリティ、国際貢献活動支援等事業>

IOCが行う発展途上国・地域への選手強化支援や、各国・地域の継続的なスポーツの発展やオリンピック・ムーブメントの推進に尽力し、国際スポーツ界及び国際社会における日本スポーツ界のプレゼンス向上を図り、国際的信頼度を高める。

<日本オリンピックミュージアム運営事業>

オリンピック・ムーブメントの発信拠点として、各種企画等の活動を通じて、オリンピズムの普及・推進に努める。

<会館管理運営事業>

日本スポーツ協会とともにJSOS(Japan Sport Olympic Square)の管理運営を行う。

<国際関係事業>

オリンピック競技大会開催NOCとして、各NOCからのリクエストに基づくアスリートの受入れなどの国際協力を、ハイパフォーマンスセンター等を最大限活用して実施する。

3. オリンピック競技大会等国際総合競技大会への選手団派遣及び成績優秀者等の表彰、並びにこれら大会の招致、開催

<第19回アジア競技大会選手団派遣事業>

2022年9月10日 ～ 25日

中国／杭州

<FISUワールドユニバーシティゲームズ選手団派遣事業>

2022年6月26日 ～ 7月7日

中国／成都

<FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ選手団派遣事業>

2023年1月12日 ～ 22日

アメリカ／レークプラシッド

<第3回アジアユースゲームズ選手団派遣事業>

2022年12月20日 ～ 28日

中国／シャントウ

<成績優秀者表彰事業>

オリンピック・ムーブメントの推進及びスポーツの各分野で優れた成果を挙げた方の榮譽を讃えJOCスポーツ賞を授与する。

<国際総合競技大会開催等に向けた準備・協力>

第20回アジア競技大会(2026)

2026年9月19日 ～ 10月 4日

愛知・名古屋

第26回オリンピック冬季競技大会(2030)

※ 大会招致に向けた活動

北海道・札幌

収益事業等

事業の遂行に必要な財源調達のための知的所有権の管理及び商標提供、加盟団体のガバナンス、コンプライアンス及び経理処理業務の支援

<マーケティング事業>

本会が保有するマーク等商標権の活用による自主財源の確保を図るためのマーケティング活動を推進する。第32回オリンピック競技大会終了後は、新JOCマーケティングプログラムを開始し、TEAM JAPANをブランド化、スポーツの価値を戦略的に高める視点に立ち、NFをはじめとするステークホルダーとともに、新しいコミュニケーション機会を創出し、新しいマーケティング活動を推進する。

<NF総合支援センター事業>

本会設置するNF総合支援センターを中心として、本会加盟団体に対する助成金、国庫補助金等の支出の適正化に係る支援及び、加盟団体のガバナンス構築に係る支援を行う。

以 上